

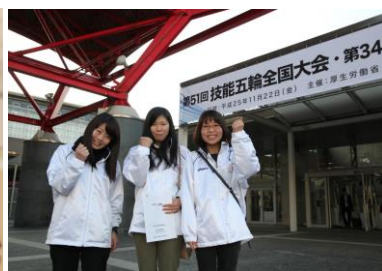
技能五輪全国大会(フラワー装飾)



2010年



2012年



2013年



2015年



技能五輪全国大会(フラワー装飾)



2014年



2016年

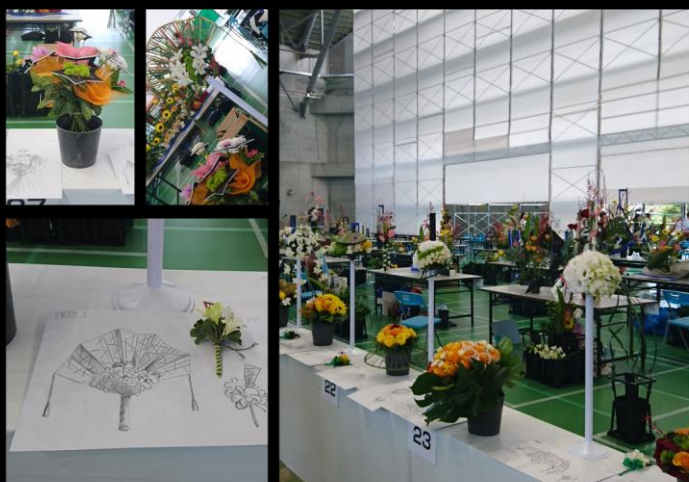


2017年



2018年 技能五輪全国大会(フラワー装飾・造園)

2018年
技能五輪全国大会
(フラワー装飾)



2019年 技能五輪全国大会(フラワー装飾・造園)



2019年 第57回技能五輪全国大会



2020年 技能五輪全国大会(フラワー装飾・造園)



2021年 技能五輪全国大会(フラワー装飾・造園)



7月 全国大会に出場決定
(第59回技能五輪全国大会
・第16回若年者ものづくり競技大会)



2021年 第59回技能五輪全国大会
出場選手壮行会
(造園職種・フラワー装飾職種)

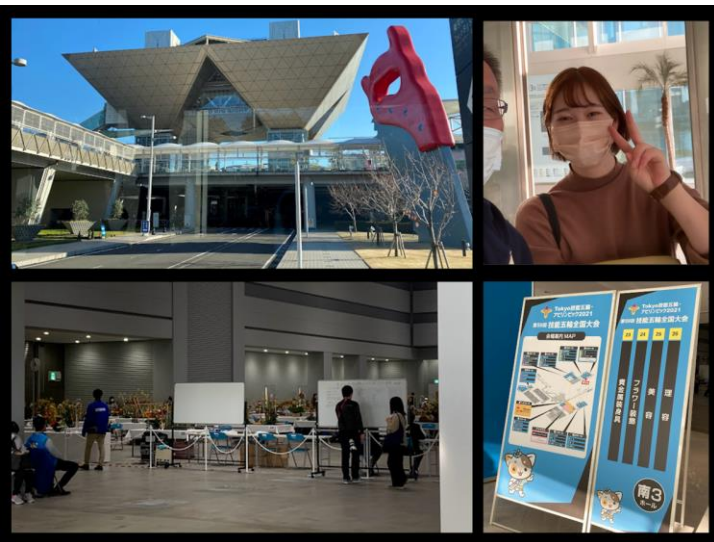


第59回技能五輪全国大会Tokyo2021が開催され、12月18・19日は東京都立木場公園で行われた造園職種部門にマイスター科2年石原君が岐阜県代表として出場しました。(本学からは3年連続出場となります)

厳寒の中、2日間で延べ10時間に及び課題制作です。新型コロナ禍でカリキュラム変更の影響もありなかなか満足な練習時間も確保できない中でしたが、時間内に完成することが出来ました。

23歳以下という限られた条件の中で出場できる大会であり、全国から意識の高い若者が集結してその技能を発揮します。出場にあたって支援や応援をいただいた多くの方々に感謝いたします。

この経験は誰もが出来るものではなく、大きな糧となったことだと思います。今後のますますの精進を期待します。



2022年 技能五輪全国大会(フラワー装飾・造園)

6月
「技能五輪全国大会」
「若年者ものづくり
競技大会」

に出場決定！



8月
「技能五輪全国大会」
に出場決定



2023年 技能五輪全国大会(フラワー装飾・造園)



2023年
技能五輪全国
大会(装飾)



2023年
技能五輪全国
大会(造園)



11月
第61回技能五輪
全国大会
(造園職種)
敢闘賞受賞



主な受賞歴(若年者ものづくり競技大会)



若年者ものづくり競技大会は、職業能力開発施設、工業高等学校等において技能を習得中の若年者(原則20歳以下)であり、企業等に就業していない者を対象に、技能競技を通じ、これら若者に目標を付与し、技能を向上させることにより就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的として実施する大会です。



主な受賞歴(日比谷ガーデニングショー)

2023年 10月
「日比谷公園ガーデニングショー2023」
環境大臣賞を受賞



2022年 10月

「日比谷公園ガーデニングショー2022」
国土交通大臣賞を受賞



第21回日比谷公園ガーデニングショー2023（2023年10月21日から29日）に上級マイスター科を修了した江崎真吾さんが、環境大臣賞を受賞しました。ガーデンコンテスト「ライフスタイルガーデン部門」にて、。昨年の国土交通大臣賞に続き2年連続の受賞です。

作品タイトルは「転送装置」で、「本作品はファンタジックな世界観の中で、エリア間を移動する際に使用する装置」（本作説明文より）をイメージした作品です。つるの大木、ステンドグラスのようなカラフルな円形舗装や鉄製のオブジェ（転送装置でしょうか）を見ると、作者独自の世界観を感じることが出来るでしょう。

2022年10月22日から30日まで開催された第20回日比谷公園ガーデニングショー2022（東京都千代田区）のガーデンコンテスト「ライフスタイルガーデン部門」にて、2013年度に上級マイスター科を修了した江崎真吾さんが、最優秀賞にあたる国土交通大臣賞を受賞しました。

作品タイトルは「空見席」で、「都会の喧騒の中、座って少しの憩いを感じたら、こんなところに。席につき見上げれば、幻想的な森の中で空を眺めているように座った方だけは感じるかも」（本作説明文より）といった内容の作品です。苔で出来た「巨人」と「蔓人」の間にある椅子に座ると、作者独自の世界観を感じることが出来るでしょう。

